

子どもの人権講座 おとな対象講座

男性（パパ）対象講座・子育て支援者と一般参加者講座 計 4 会場



平成 25 年 6 . 8 月

〇6 月 21 日 金 安来市：わかさ会館

9:30~12:30 子育て支援者等

〇6 月 23 日 日 出雲市：いずも子育て支援センター

9:30~12:30 男性（パパ）+ 県立大学生

〇8 月 24 日 月 出雲市：出雲社会福祉センター

9:30~12:30 子育て支援者

〇8 月 22 日 木 出雲市：荒木コミュニティセンター

9:30~12:30 一般・子育て支援者

「子どもの人権ワークショップ講座」、おとな向けには 4 つの会場で実施しました。

会場や参加者にあわせ、少しずつ内容と時間の違いはありますが、「関わりのなかに権利がある」、「遊びのなかに権利は満載」「権利とはなにか」「子どもの権利条約」を体感しながら学びました。

◎一番最初はお馴染みグーパーの手を使った導入。

片手を前でグー、もう片方は胸でパー。中学生と同じワークですが、おとなの方が「笑い」にかえながらやろうとする人が多いです。



できるかできないかではなくて、「早くできるか、人よりゆっくりできる」の差。できなかつたら、あーできないよーと笑いにかえ、そして自分のペースでできたらよい・・・という北さんの中学生もひきつけられたこの言葉、目からウロコのことは、そうだよなー、そうやって生きてきたよね、比べてばかりいたよと共感、賛同の表情の人がたくさん会場でした。特に若いおとうさんや大学生の会場は、この一言で「おっ！」という表情になった方がたくさんいました。

ドンガラドン ふたりでババ抜き

新聞紙のボール ドンガラドンの北さん講師を務める大学の女子大生の話は、えっ！という驚きと、さもありなんという感じがただよいます。マニュアルを求める人たち、そしてそうさせてきたおとな。なにか大事なものが失われ、そしてそれはわが子の世代にも・・・考えるものが多々あります。



「新聞紙ボール」も、最初は呼吸があわなくても途中の「どうしたらもっとうまくできるか、感じた自分のキモチを伝える」タイムを持った後は、見違えるようにスムーズにいきます。また選手交代をしてみると、簡単そうだったことが全くできなかつたり違和感があったり・・・相手の立場になるとものの見方もかわります。

「人間写真」は短い時間にお題をクリアしていかなければならず、主張し、折り合い、また意見をいい、認め合いすすめていきま

す。みんながだまっていたらなんにも生まれず進みません。そしてなぜかみんなとびきりの笑顔で演じます。ひとりひとりがここにいてよい、ここでひとりひとりの役割がある。あなたがいるからこの「写真」は成り立つ。北さんも誰もそんなことは一言もいわない。でも全員がそれを感じている。そんな時間です。

そして、一筆書きでは、無言のうちに相手のキモチに呼応して、でも自分らしさを紙に絵をつくるという作業で表します。「そうきたかー」と心のなかで笑いながら他者を認め、自分も主張する。「あそび」ですが感じるものは多々ある時間です。「答えはひとつではない」・・・
「むだなみのに子どもは価値をみいだす」などなど自分の幼いころを思い出すようです。

◎要求と権利

8つ自分が今ほしいもの、必要なものをあげ、2-3人でベスト3をあげます。要求をいかに「権利」にしていくか・・・ここで中学生講座でもでた以前北さんが実際に講座で体験した中学生の「自由」「広末涼子に恋した」「ピアス」の例がです。

笑いの中で「そうか、権利ってそういうことなんだ」と理解がうまれます。



3つのフィルター、お互いに安心・他者がその気・納得も心に落ちていきます。

そしてそれを体感する人間ファックスにうつります。

ひまわり、ロケット、運動会 単純な絵ですが、「ことば」だけで相手に伝えることいかに「安心してかいてもらう 納得してもらう、その気になって描いてもらう」ことが難しいかわかります。ここで関わります。「ここはどんなふう?」「きゃんでいののような曇って?」と書く方も遠慮なく聞けるようになると説明する方も楽です。絵のうまさではない、だから描いたものを誰も否定もしない その気になって描いたものを受け入れる・・・あそびながら 笑いながら そして たくさん言葉をかわしながら みんなが体感していきます。

◎子どもの権利条約

40条を初めてみたという人がほとんど・・・、もう批准されて20年がたとうとしているのに日本はこの現状です。この40条をグループでいまの子どもに必要な条約ベスト3を選びます。

6条、3条、12条・・・中学生が31条の「あそび余暇」をあげていますよ、夏休み?もっとちゃんと夏休みがしたいといっていました、講座中の子どもたちのようすも伝え、親として国として教育に携わるものとして、こんなことがかかれています、国連からはこんな指摘もうけてます、みんな心では気づいていながら他人ごとだったことを、改めて条約をみながら自分に社会に問う時間になりました。

子ども・・・

未来につながる「命」であること、自らが育

つ・学ぶ力のある「命」であること、私たち

おとなはどう向き合うか

禁止であふれる遊び場や子どものあそび、ゲームやネット

にふりまわされる日々の子どもの生活、塾・スポ少・部活で忙しく遊ぶ時間もぼーっとする時間もない子ども



もたち、そして子どもの発達を無視したおとなの気持ち、虐待の現状と子どもの心、子どもを商業目的としたゲームの存在を生み出したのはおとな e t c . . . 北さんから投げかけられたたくさんのお話は、子育て現場に関わる者に日々の関わりを改めて考える機会になりました。子どもに関わるのは「おとな」、このことをもう一度一緒に考える時間になりました。「関わる」ことの大切さを体感として学び、「関わり」は生きていくための「力」がたくさんあることも学びました。おとなである私たちの向き合い、子どもに対するまなざし、キモチ、それが子どもの「命」を紡いでいく、とても大切なものが学べ、そしてたくさんの人に伝えたいと感じた時間でした。

パパ対象講座は終わってから、北さんとガッチリ握手をして別れる方がたくさんいました。講師というだけでなく、子育ての先輩として、人生の先輩として、男性の先輩としての北さん、そんな思いが握手に表れているように感じ、また心にふれたものの大きさも感じました。

4 会場の皆さん、学びを「学び」でおわらせないでください。それぞれの現場で、家庭で今日の学びを思い出し、少しでも実践し、まわりにひろげてください。おとなのむきあいが、心が子どもの未来をかえていきます。なかなか広がらなくても諦めずに . . . 。それが主催者のほっと・すーすー 21 からのお願いです。

「おとな講座」アンケートより

6/21 安来会場 23 出雲子育て支援センター会場 24 出雲市福祉センター会場

8/22 荒木コミュニティセンター会場

◎「心に残ったことば」

- ・子どもと共に生きる（複数回答）
- ・生きていい
- ・あそびどころ（複数回答）
- ・自分はここにいてよいのか
- ・子どもの時間（複数回答）
- ・出来る子 出来ない子ではなく早くできるか遅くできるか（複数回答）
- ・内なる衝動
- ・自尊感情
- ・子どものゆらぎ（複数回答）
- ・子どもの答えはひとつではない（複数回答）
- ・公園で遊ぶ子どもの権利を行政がうばってしまっている現実がある
- ・自分はここにいていいんだ
- ・あそび心への理解
- ・こどもの遊びは子どもしかわからない意味があり子どもにとっての価値がある（複数回答）
- ・予想外、思い通りにならない
- ・生きる力
- ・遊び心を忘れてはならない
- ・できない人はいない（複数回答）
- ・子どもは生きる権利がある
- ・あそびの中に権利がある、権利を学ぶ（複数回答）
- ・子どもは子どもの時間を生きている（複数回答）
- ・ダメではなく、～するにはどうしたらいいか

- ・関わりのなかに権利あり（複数回答）
- ・子どもは子どもの時間を生きて全てに価値を見出している
- ・子どもの人権を教えるのはおとな
- ・ここにいていいと思っていない子は誰かとともにできるわけがない
- ・だれかのために だれかとともに
- ・“遊び”“なんです！
- ・お互いに安心・他者がその気・納得の3つのフィルター（複数回答）
- ・問題解決の基準
- ・おそーくできる子
- ・互いに安心（複数回答）
- ・禁止させるよりやって学ばせる
- ・子どもの自己肯定力
- ・おとなのものさしでこどもをみてはならない
- ・おとなの都合を子どもにおしつけてはならない
- ・人権

「受講後の感想」

- ・おとながまず変わらなければですね。（40代 女性）
- ・遊びへの関わり方が今までない目線で考えることができました。（50代 女性 学童指導員）
- ・子どもたちに対して、親に対して、先生を含む指導者に対して思うこととリンクする部分が多々ありました。子どもたちは自分をきちんと見てくれる理解してくれているおとなを見分けていると思います。子どもの目線でおとなとしての立場で、自分も子どもと楽しく接することができたら良いと思います。（30代 女性 交流センター職員）
- ・おとな目線で保育をしている指導を、今日をきっかけに、子どもの時間を大切に自分の引心を切り替えるようにすることを実施します。（50代 女性 学童指導員）
- ・子どもの真のパートナーになります！（60代 女性 学童指導員）
- ・反省することがありすぎて恥ずかしかった。学童の子どもたちに「あそび心を育むことのできる」指導員になれるよう頑張ります。（60代 女性 学童指導員）
- ・昨年人権講座の後、どうして条約を読まなかったかと後悔です。まずは自分の子どもに対して安心して育ってくれるようそんな親になるよう心がけます。（30代 女性 子育て中）
- ・子どもが身近な遊びから権利を学ぶということを初めて意識しました。おとなからみたら意味のないことでも子どもにとっては価値ある、そんな経験をたくさん子どもにしてほしいです。（20代 女性 コミュニティセンター職員）
- ・一母親ですが、子どもの人権を考えて子育てしてたかなと思いました。人に対しての主張はしても、自分が子どもに対してはどうだったかなと考えさせられました。学ぶことがたくさんあり充実した時間を過ごさせていただきました。今日帰ったらさっそく実践します。（20代 女性 子育て中）

・私には小学生の子どもが2人います。日々友だちとの関わりのなかで、いろいろ学んでいます。昼休みのあそびの中で、ちょっとしたルール認識の違いから相手を一方的に責め、トラブルが絶えないため、外遊びを止めるようになってしまいました。ぜひこのような講座を子どもたちに受けてもらいたい、仲間との関係づくりのきっかけにしてくれたらなぁと思いました。(40代 女性)

・子どもと関わる仕事をしていますが、人権ということを意識していなかった。今思えば、あのとき、あのトラブルは・・・など遭遇する場面はたくさんありました。今後は少し違う視点で関わりたい。(女性)

・目からうろこ、改めて振り返る時間になりました。何かをするとき、してやる！してやっている！と思うことが多く、しまった！ いわなければよかったと思うことだらけです。親も地域ももっと手間をかけて子どもたちと活動しなくては・・・そのことは大変だけれどその方がきっと楽しいと思うのですが・・・(50代 女性 コミュニティセンター職員)

・普段の生活のなかで、子どもの人権など考えずに親の都合、家族の都合で子どもの意見も聞かずにやってきましたが、子どもの話をきちんと聞いたり、親の思いを伝えたり、すごく考えないといけないことがわかりました。子どものことで悩んでいることも、今日の講演でよいヒントを得ることができ、今日から早速やってみようと思いました。中学生の子どもがいるので話しをするのに3つのフィルターを実際につくってみようと思いました。(40代 女性)

・3つのフィルターに注意して対応する。(60代 男性)

・遊びとの関わりのなかで、問題意識と問題解決のキーワードがあること重要性を学んだ。(60代 男性)

・5年生の長男の子育てに四苦八苦し何か参考になればと参加しました、「子どもは子どもと」自分と離してみたいものの「子どもにも権利あり！！」親がその権利を主張できる環境にしてあげないといけないんだなと知り、何か新しいものを知ることができ、とても感動しました。あそびから学ぶ！ とてもいいですね、家でもたくさん遊びたいと思います。(30代 女性 子育て中)

・ものすごーく充実した3時間でした。これほどまでに考えさせられ為になりそして何より楽しいと感じた講演会は初めてでした。日頃、わかっているけどどうしても、おとなの都合、親の都合、自分の都合で子どもの行動・言動を考えてしまいます。そしていつも後悔します。子どもの寝顔をみながら「明日は子どもの気持ちに寄り添って・・・」と優しい気持ちになるのに、次の日になると朝から子どもの気持ちを押しこんでしまう・・・反省の毎日ですが今日を境に少しでも子どもの気持ちに寄り添えたらと願ってやみません。(40代女性 子育て真っ最中)

・人権って関わることから生まれるという考えは今日初めてしました。普段私たちは幼稚園で子どもたちの権利とは言葉にだしてはいませんが、すべて関わり何だという解釈とても納得しました。「子どもと共に」毎日心がけていることですが、気がつけばおとなの誘導の下だったりしています。もうすぐ2学期になります。考えなおすきっかけになりました。(30代 女性 幼稚園教職員)

・改めて関わりのなかの遊びの大切さを強く感じました。仕事上、多くの子どもと関わる中で、いろいろなやりとりの場面、ケンカにたくさん出会います。そのやりとりの中で子どもといっしょになって考え、学んでいきたい。そして子どもの思いを聞いたり自分の思いを伝えたりして「子どもと共に」成長していきたいと感じました。(20代 女性幼稚園教職員)

・互いに安心、他者がその気、筋が通っている、おとな社会においても必要なこと。ここをベースに展開すればよりよく人間関係が構築できる。(40代 男性 子育て中)

・あっという間の3時間でした。子どもとの接し方がとても勉強になりました。(30代 男性 子育て中)

・小学校1年の子とのコミュニケーションで少し悩んでいました。もっと早く参加できればよかったと思いました。まだ時間あるので今日の内容を思い出して子育てにがんばりたいと思います。(30代 男性 子育て中)

・遊びの中で子どもの自主性が育てられることを知りました。権利の内容、感覚的によく理解できたと思います。(30代 男性 子育て中)

・非常にあたたかな気持ちになりました。(40代 男性 子育て中)

・このような講座初参加です。土日が仕事のなかで参加意識はあるのですが、今日は頑張ってお休みを取り参加した甲斐がありました。心に残った言葉メモをとりました。また参加してみたいです。(30代 男性 子育て中)

・初めて参加しました。お父さん同士の会ではありましたが、少しの時間で共通・共感できることがありました。おとなもいろいろな人と関わることも必要を感じました。実は、昨年までスポ少の指導で小学生と一緒にでしたが二人目の出産をきっかけに指導を一旦休み自分の子どもと関わる時間を大切にしようと考えました。また機会あれば参加します。(40代 男性 子育て中)

・以前から子どもに関する権利には興味があったのですが、今日はいろいろなお父さんと関わりながら身をもって学ぶことができました。(10代 女性 大学生)

・すごく勉強になりました。看護師になっても役立つと思います。今日の講座を忘れないようにしてこれからの生活に役立てたいと思います。(10代 女性 大学生)

・ボランティアなどで子どもと関わる機会がありましたが、どうしたらよいのかわからなかったり、怒ってしまってばかりでした。子どもをひとり一人見て子どもが自分で考えることが必要だと感じました。自分の意思で動くことが今の子どもには必要だと思いました。(10代 女性 大学生)

・子どものころ、こんなおとなになりたくないなあ、私が親になったらこうしようとか思っていたことって今はすっかり忘れていて……。それが今日子ども時代に帰ったような感覚で、忘れかけていた何かを思い出す感じがしました。おとなになるにつれて、忘れていた遊びももう一度やってみると楽しいものだとすることを改めて感じることができました。(20代 女性 大学生)

・初めて会うお父さんといっしょで緊張しましたが、遊びを通して、人それぞれに違いがあって良いこと、自分の意見も相手の意見も大切にすることなど学ぶことができました。参加できて良かったです。(10代 女性 大学生)